



早島・豊洲・帯江地区の戦没者の英霊を祀る御霊神社

療センター)内の傷痍軍人医療施設に祀られていた奉安殿(天皇皇后の御真影と教育勅語を納めた建物)の社殿及び玉垣を昭和二十二年に遺族会の奉仕により、現在の地へ移設した。移設当初の屋根は檜皮葺きであったが、後に銅板に葺き替えが行われた。

教育ニ関スル勅語
朕惟フニ、我カ皇祖皇宗、國ヲ肇ムルコト宏遠ニ、徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ。我カ臣民、克ク忠ニ克ク孝ニ、億兆心ヲ一ニシテ、世世厥ノ美ヲ濟セルハ、此レ我カ國體ノ精華ニシテ、教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス。
爾 臣民、父母ニ孝ニ、兄弟ニ友ニ、夫婦相和シ、朋友相信シ、恭儉己レヲ持シ、博愛衆ニ及ホシ、學ヲ修メ、業ヲ習ヒ、以テ智能ヲ啓發シ、徳器ヲ成就シ、進テ公益ヲ廣メ、世務ヲ開キ、常ニ國憲ヲ重シ、國法ニ遵ヒ、一旦緩急アレハ、義勇公ニ奉シ、以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ。是ノ如キハ、獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス、又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン。斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ、子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所、之ヲ古今ニ通シテ謬ラス、之ヲ中外ニ施シテ悖ラス。朕爾臣民ト俱ニ、拳々服膺シテ、咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ。
明治二十三年十月三十日
御名 御璽

教育勅語口語文訳
私は、私達の祖先が、遠い昔遠大な理想のもとに、道義国家の実現をめざして、日本の国をおはじめになり、そしてまた、国民は忠孝両全の道をまっとうして、全国民が心を合わせて努力した結果、今日に至るまで、美事な成果をあげて参りましたことは、もとより日本の優れた国柄の賜物でありまして、教育の根本もまたここに基づくものと思えます。
国民の皆さんは、子は親に孝養をつくし、兄弟、姉妹は互いに力を合わせて助け合い、夫婦は仲むつまじく解け合い、友人は胸襟を開いて信じあい、そして自分の言動をつつしみ、すべての人々に愛の手をさしのべ、学問を怠らず、職業に専念し、知識を養い、人格をみがき、さらに進んで、社会公共のために貢献し、また法律や、秩序を守ることは勿論のこと、非常事態の発生の場合には、真心を捧げて、国の平和と、安全に奉仕しなければなりません。そして、これらのことは、善良な国民としての当然のつとめであるばかりでなく、また、私達の祖先が、今日まで身をもって示し残された伝統

仁徳天皇
古事記では大鷦鷯命と記されており、応神天皇の第4皇子で、第16代天皇である。ご在位は313年1月3日~399年1月16日であった。
大阪府堺市にある日本最大の前方後円墳大仙陵古墳(仁徳天皇陵)に埋葬されている。記紀の逸話に「人家の竈から炊煙が立ち上っていないことに気づいて租税を免除し、その間は儉約のために宮殿の屋根の茅さえ葺き替えなかった。」とされるように、仁政を行った。

として大己貴神社の記述があり、神功皇后宮の名札に大己貴神社と記されている事から、神功皇后宮と大己貴神社は同一社で、大己貴神社の社名及び祭神の誤記か、或いは境内神社の金刀比羅神社と同一祭神のため、金刀比羅神社へ合祀又は廃祀したのではないかと思われる。
神功皇后は八幡神社の祭神であり、当社の八幡神社に神功皇后を祀っているにも拘らず、更に境内神社として祀った理由は不明であるが、当時、神功皇后の神威の発揚が大きかったものと推察される。
また、配神の仁徳天皇は、神功皇后の御子である応神天皇の御子である。つまり神功皇后からは御孫にあたる。八幡神社の祭神として祀られる例も多くある事から配祀られたと思われる。玉依毘賣命は、様々な地域で神聖な女性を指す神として祀られており、八幡神社で祀られる比売大神を指す場合もある事から配祀されたのであろう。

素盞鳴神社
祭神は素盞鳴命である。素盞鳴命は天照大神の弟神で、黄泉の国から帰った伊邪那岐命が禊をして鼻を洗った時に生まれた神である。古事記には建速須佐之男命と記されている。
素盞鳴命は父神に海原を治めなさいと命じられるが、泣きわめいて言うことを聞かなかつたり、高天原では田の畦を壊し、溝を埋め、大嘗の神殿に大便を散らし、逆剥ぎにした天斑馬を機織屋に投げ込んで、天衣織女を死に至らしめるなどの悪事を働いた荒ぶる神であった。
やがて、素盞鳴命はあまりの暴れぶりに高天原を追放され出雲国に降り立ち、村人を苦しめる頭が八つ、尾が八つある八岐大蛇を退治した。この勇敢な神を人々は崇敬し、各地に素盞鳴命を祀る神社を建立した。備中地方ではその偉業を讃え、後世に残すべく「備中神楽」が考案され、毎年各地で奉納されている。

玉依毘賣命
古事記では玉依毘賣命、日本書紀では玉依姫と記されおり、豊玉毘賣命の妹にあたり、彦五瀬命・稻飯命・三毛入野命・神日本磐余彦尊(神武天皇)の四神を産んだ。
玉依毘賣命というのは特定の神を指す固有名詞としてではなく、「玉」は「霊」神霊のことであり、「依」は「憑くことを意味し、神霊が憑依する女性、巫女を表すといわれており、普遍的な意味を持つ名称として使われることが多くある。



素盞鳴神社

当社の素盞鳴神社は神功皇后宮と同様式、規模で近年新たに改築されており、勧請年等は不明であるが、神社明細書(昭和二十七年作成)にはその名称が掲載されている。

御霊神社
当社では英霊社とも呼ばれており、戦没者の英霊を祀る護国神社の事である。
祭神は、日清戦争、日露戦争、大東亜戦争の戦没者の英霊を奉斎しており、祭典は慰霊祭として十一月に行われている。
当社は、国立療養所岡山南病院(現南岡山医